

3番 畠山昌典です。通告に基づきまして、一般質問を行います。

4月に行われました岩泉町議会議員選挙におきまして、なんとか当選させて頂きこの場に再び立てていることに感謝申し上げます。また、一方で県内でも新型コロナウイルスの感染者が増加しており、感染予防対策や予防接種への対応に追われている状況ですが、その先の町政を見据えながら質問をさせていただきます。

ひとつ目は、町内団体等から切望されているふれあいランド岩泉の再整備について伺います。

平成28年の台風第10号豪雨災害において被災した同施設につきましては、平成29年第2回定例会の一般質問において、その再整備について伺っており、その後も同僚議員の一般質問や各種委員会において議論されてきました。

平成31年1月には台風第10号豪雨災害復旧・復興推進調査特別委員会で再整備にかかる基本方針案が示され、令和2年第2回全員協議会において変更案が出されましたが、内容が二転三転しており、未だその方向性や具体的な整備の内容が決定していません。そのことに注目している町民の皆さんからも、今後どうなっていくのか訊かれることも少

なくありません。

町民の皆さんの健康増進や体力向上、また町内外の方々の交流の場・憩いの場として期待されているふれあいらんど岩泉の再整備について、現在の状況と今後の見通しについて伺います。

次に、児童生徒のスポーツ活動支援について伺います。

これにつきましても、先の一般質問におきまして、交通支援や体制支援などについて伺っています。

以前では、通っている学校にあるクラブやスポーツ少年団で活動できる環境にあったものが、現在は、少子化による学校統合、スポーツ少年団活動の構成団員の広範囲化により、練習に参加するための送り迎えや交通費の負担など親・家族の負担が大きくなっています。このことはスポーツ少年団に限らず、岩泉スポーツクラブに参加している岩泉地区以外の子供達にも言えることです。

このことにより児童生徒がスポーツ活動をあきらめなければならぬなどの支障が出るとすれば、町の将来を担っていく子供達にとって大きな問題です。

子供達が、好きなスポーツを思い切り楽しめる環境を創るため、関係団体との意見交換等をしながら、町としての支

援を検討すべきと考えますが、町長の所見を伺います。

また、子供達だけではなく、町民の皆さんのスポーツ活動や体力維持・向上、丈夫な身体づくりのため、スポーツジムの整備について要望する声も少なくありません。

都市部にはそういったジムが公営・民営で整備されており、アスリートの鍛錬の場から高齢者の体力維持や交流の場として広く活用されています。

町内にある廃校施設を活用し、先ずは小規模な整備からでも始めるべきと思います。併せて町長の所見を伺います。

以上、本席からの質問を終わります。